

22157 居住環境論 Housing in Environment		1 年次～ 集中 2 単位	
担当者	齋藤 芳徳	履修可能学科	E Pe Pc C W F N
		関連資格	教職必(F)
サブタイトル	生活空間を体験・分析する		
授業内容 ・ ねらい	<p>人間とモノや空間との相互関連を実体験を通して理解しながら、住まいの基本的条件を考察するとともに、超高齢社会における居住の実態について学ぶ。</p> <p>次いで、基本的な製図および設計を通して、第三者に対して居住環境に関する自分の考えを伝えるための基礎的な知識を得る。</p>		
授業計画	<p>1. 人間工学 ①身体寸法を測る 2. 人間工学 ②動きの範囲を測る 3. 人間工学 ③モノの寸法と人との関係を測る 4. 人間工学 ④建築空間と人との関係を測る 5. 人間工学 ⑤キッチンの寸法を測る 6. 人間工学 ⑥生活姿勢を観察する 7. 福祉工学 ①車いすで生活する 8. 福祉工学 ②介護する側、される側を体験する</p> <p>9. 福祉工学 ③施設と自宅の生活環境を比較する 10. 環境心理 ①人と人の距離を測る 11. 環境心理 ②会話しやすい距離を測る 12. 環境心理 ③コレ・ソレ・アレの距離を測る 13. 製図 ①平面図を立体図にする 14. 製図 ②立体図を平面図にする 15. 製図 ③自分の部屋を平面図と立体図で描く</p>		
教科書 参考書	<p>教) 『生活空間の体験ワークブック』(彰国社) 参) 『インテリアデザイン教科書』(彰国社)</p>		
評価方法	レポートおよび設計図等の提出物		
事前準備学習 履修条件等	<p>1) 3～5m程度のスチール製メジャーを各自で準備する(100円ショップの製品で可、初回の授業から使用する) 2) 製図に必要な道具や材料は各自で準備する</p>		